

シケムと清平の決意

イスラエル民族が430年間、エジプトで苦勞の生活をしました。そして解放されることを願いモーセによってカナンへと出発、荒野の生活が40年でした。決して簡単なことではありません。決まった場所がないのでいつも移動しなければなりません。神様だけを頼って荒野を渡ってきました。カナンに入ってからの内容がもっと重要でした。カナンには人がいました。そして立派な文化が定着していました。ですからカナン民族は命をかけてイスラエル民族と闘うのです。カナン民族と命を懸けて戦う事によりカナンがイスラエルのものになるのです。その闘いの期間が7年間でした。今は真のお母様と共に神様に侍りながら闘う期間なのです。私たちは新氏族メシヤの闘いをするのです。その闘いをする期間が2020年までの7年間なのです。では何を持って闘うのでしょうか？祝福家庭は氏族メシヤとして国家を代表するので、祝福家庭が立てば天運が来るのです。

血統守ってきたイスラエル民族がカナン民族と結婚をしてみました。また2世の教育が出来ませんでした。あれほど苦勞したイスラエル民族が2世に相続できなかったためにカナンに定着することが出来ませんでした。そのことをわかっているのです、信仰の浄化運動しているのです。どちらの神に侍るかという事です。信仰がどんどん人間のようになって行ってしまっています。人間の神に侍っていつてしまうのです。楽な方へと流れて行ってしまいます。御父母様の伝統より楽な方へと流れて行ってしまいます。

そこでお母様は私たちの信仰を立てる機会を与えて下さいました。経験が足りない2世ですがを前に立てようとしているのです。今回のお母様のみ言がそのような意味があったと思うのです。私たちは天の前に正直にならなければなりません。純粋な水にならなければならないのです。父母様に一つになっていきたいと思います。訓読の伝統を守っていきましょう。初心に戻っていきましょう。そうすれば神様が役事するのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお願い致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 50周年特別路程 (9月2日～11月30日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。

3. 嫁さん弁当

期日: 11月12日(水)です。

4. 第3地区 徳野会長特別集会 (14日に変更)

期日: 11月14日(金) 10:30～13:00(予定)

場所: むさしのグランドホテル

参加対象: 牧会者、婦人代表、教会スタッフ、全食口

参加感謝献金: 1000円

5. 代々木聖地祈禱会

代々木聖地での早朝精誠訓読祈禱会が再開されました。

浦和教会担当が、11月18日(火)午前5時です。

6. 伝道三日路程

期間: 11月18日(火)～11月20日(木)

7. VISION2020 勝利の為の神氏族的メシヤ修練会

第2回: 11/15(土) 午後4時～11/18(火) 正午

場所: 天宙清平修練苑

修練会参加感謝献金: 1万円

※最終名簿報告期限: 2014年11月11日(火)

参加目標-第3地区57名、東埼玉19名、浦和4名



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 26番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	樫原尚美
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	神氏族メシヤ勝利	
※聖	歌と献金 聖歌 19番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

それでこそ私が是正してあげることができます。率直であれというのです。如何にしても、韓国で出発したこの摂理歴史が本流です。大きな流れになって五大洋六大州を席卷して通過するところに生命が復活すると言いましたね。それを、私たちは積極的に現実化させなければなりません。そのためには、皆さんが、各大陸で報告した良い長所をすべて見習ってそのように努力すべきです。朝、各家庭で、教会のみ言訓読しながら精誠を捧げるべきです。そうしてこそ霊界が動員されます。今、皆さんは恐れるものはありません。自分一人だけではないのです。立体的に皆さんを通して役事されていますね。それを実感しながら暮らす人生を、息切れして、嬉しいこの時を感謝の心で皆さんが実践しなければなりません。そうでなければ、皆さんだけでなく、皆さんの後代に恨として残されます。皆さんはすべて名門家になりなさいと言いました。孝子、孝女、忠臣、聖子に皆なりなさいと言いました。皆さんがいかにか実践するかにかかっています。私は、親の心はそうです。生涯を許し、消しながら生きてきました。次は考えないように、そのような先入観で見ないように努力しました。今現在、よくやっている姿で最後までよくやっ行くことを期待していました。だから今、私の心が伝わるのか、そのように感動を受けていました。それだけ皆さんの成長期間が長かったのです。これからいつまでそのように保護を受けなければならないのでしょうか？今や皆さん自身が責任を全うする時です。分かりましたか？ここに世界指導者級の指導者たちだけが集まったようですが、皆さんが私と同じ思いで今決断すべきです。だからまず、韓国から私が調整するつもりです。大きな流れになって大海に早く流れて行くためには、途中ですべての支流は一つに合流するようになっています。ですから私たちの機関も、なるべく多く広げて置くよりも、縮小する必要があります。

二つよりは、一つ。ところが、あまりにも韓国協会が大きくなってみると、それも力不足なので、今は縮小することができる分だけ、機関は縮小して協会と一つになっていく方向に、伝道、その次に指導者養成、二世、青年、カープが中心とならなければなりません。

統一運動

「6500家庭会総会・二世祝福父母交流会」を開催

天暦(閏)9月9日(陽暦11月1日)、教会本部礼拝堂で、「6500家庭会総会・二世祝福父母交流会」が開催され、首都圏を中心として約150人が出席しました。

「6500家庭会」は、1988年に行われた6500双祝福と既成祝福、そして翌年1989年に開催された1275双の祝福家庭で構成された家庭会です。

第一部の総会ではまず、御嶽山噴火の犠牲者に対して黙禱を捧げました。犠牲になった教会員4人中、2人が6500双家庭でした。その後、金成南・6500家庭会長が主催者挨拶を述べ、1988年の6500双祝福から26周年を迎えた感謝と共に、子女たちが祝福を受ける年頃になったことに触れ、「父母の結束を深めて責任を果たしていきましょう」と強調しました。家庭会の活動報告とケーキカットの後、徳野英治・日本統一教会会長が激励の辞を、三つの観点で語りました。第一点は、「相対者(伴侶)を大切にしましょう」。「相対者は聖和(逝去)していなくなった時に本当の有難味が分かるものかもしれないが、今一度尊重して見つめ直すこと、相手の欠点を変えようとせず、自分が変わって良い関係を作っていくことが大切である」。

第二点は、「子女教育の強化」。二世青年圏対象の「日本トップガン修練会」の開催を紹介しながら、「家庭から公職者を輩出する名門家になりましょう」と激励。第三点は、「民族的メシヤの勝利」についてでした。



2014年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2014年 活動指針

1. 伝道の飛躍的發展
2. 真の家庭運動の推進
3. 二世圏伝道・教育強化
4. 新民族的メシヤ活動推進